

経年変化編

(独白)何十年ぶりの同窓会 初恋のあの美少女に再会できると思うとわくわくするが

同窓会 マドンナ見るな 目を閉じよ 乙女の姿 もはやとどめぬ

12 あまつ風 雲のかよひ路 ふきとぢよ 乙女の姿 しばしとどめぬ 僧正遍昭

(独白)ああ 散歩には杖が手放せなくなってしまったなあ 昔はさっさと歩けたのに
ずっこけた 後の心に くらぶれば 昔は杖を 思はざりけり

43 逢ひみでの 後の心に くらぶれば 昔はものを 思はざりけり 権中納言敦篤忠



季節編

(独白)この歳になると寒さが身に染みる かつこ悪いけどラクダのモモヒキはいちやお いやそれでもまだ震えがとまらないなあ

ももひきで 震えるからだ しのぐにも なおあまりある 寒さなりけり

100 百敷や ふるき軒端の しのぶにも なおあまりある 昔なりけり 順徳院

(独白)暑いなあ ぐったりだ もう「夕涼み よくぞ男に生まれけり」でいこう 年取ると恥も外聞もなくなるか
春すぎて 夏来て息も 絶え絶えの 衣脱ぎたる 爺の避暑法

2 春すぎて 夏来にけらし 白妙の 衣ほすてふ 天のかぐ山 持統天皇

物忘れ編

(独白)えーと、財布どこに置いたのだろう 結構金が入っているのだが

忘れてる 財布思はず 置いた場所 人のお金の 惜しくもあるかな

38 忘らるる 身をば思はず ちかひてし 人の命の 惜しくもあるかな 右近



やあ お久しぶり お元気ですか (独白) エート 顔は覚えているのだが名前がでてこない。名前をださずになんとかか話を続けていこう

嘆けとて 人の名前を 忘れてる 知った顔する わが会話かな

86 嘆けとて 月やは物を 思はせる かこち顔たる わが涙かな 西行法師



放浪編

(無線放送) こちらは XX 市役所です 警察より行方不明者捜索のお願いです・・・(近所の人)ああ、また YY さん徘徊しているな 家族も大変だ

誰もかも 知る人にせむ 尋ね人 無線放送 家族は泣くに

34 誰もかも知る人にせむ高砂の 松もむかしの友ならなくに 藤原興風

備考 元歌はシルバー和歌



(連れに対し) いいですか 絶対離れてはだめですよ 一旦離れるとどこでどう徘徊するかわからないから

これやこの 行くも帰るも 別れては 行方しらぬで 捜索願

10 これやこの 行くも帰るも 別れては 知るも知らぬも 逢坂の関 蟬丸

